

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ソルティア藤沢市鶴沼石上 新築工事	階数	地上10F
建設地	神奈川県藤沢市鶴沼石上一丁目14番1	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	105 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2022年4月25日
敷地面積	439 m ²	作成者	株式会社マリモ 菜田修一
建築面積	274 m ²	確認日	
延床面積	2,270 m ²	確認者	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 高い外皮性能と高効率な設備システムによってよりよい居住環境を目指し、同時に環境負荷の抑制に配慮している。また、多様な植栽により、良好な景観を形成するとともに敷地内の温熱環境の向上に務めている。		その他 特になし
Q1 室内環境 日本住宅性能表示基準「5-1断熱等級性能等級」における等級4相当の外皮性能とすることで室温制御に努めている。また、F☆☆☆☆の建材を全面的に採用し、化学汚染物質の発生を抑えている。	Q2 サービス性能 光回線を導入予定であり、高度な情報通信設備に対応している。外壁仕上げ材、内装仕上材、主要配管に更新必要間隔の長い部材を採用し、建物の耐用性を高めている。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽により、良好な景観を形成している。特に中・高木の水平投影面積を広くとることで、日陰を形成しており地表面近傍の気温上昇を抑制している。
LR1 エネルギー 高い外皮性能に加え、高効率な設備システムを導入しエネルギー消費量を低く抑えている。	LR2 資源・マテリアル 主要水栓や便器に節水型を採用し、水資源の保護に努めている。部材再利用の可能性の可能性が向上するよう、容易に分別可能な壁構造を採用している。	LR3 敷地外環境 建物運用時のエネルギー消費量を低く抑えることで、ライフサイクルCO ₂ の排出を抑制している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される